

## 泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 膀胱全摘除術に伴う尿路変向術は術後腎機能の悪化に影響を及ぼすか。

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 篠原 信雄（泌尿器科・准教授）

### [研究の目的]

膀胱全摘除術に際し、種々の尿路変向術が選択されていますが、選択された尿路変向術により術後腎臓の働きがどの程度悪化するかはわかっていません。今回の研究では、この点を明らかにするために、当科で尿路変向術が行われた症例の術後腎機能の変化を解析し、手術別の腎機能悪化の程度、および腎機能悪化に関わる因子について検討することを目的としています。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

膀胱癌と診断された患者さんで、1988年から2008年の間に当院泌尿器科で膀胱全摘除術を受けた方

#### ●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、既往歴、合併症、身体所見、治療内容、検査結果、画像診断、術前後の化学療法施行の有無、術後の腎盂腎炎の回数および術後の臨床経過

### [個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院泌尿器科

担当医師 大澤崇宏

電話 011-706-1161（代表）

FAX 011-706-7853